3　委託事業経過報告書

令和４年度　山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成研修

＜支援者養成講習会＞

・開講式

令和４年７月９日（土）山梨市民会館４階会議室　10：00～10：30

山梨県障害福祉課２名　県会議員１名　山梨県言語聴覚士会会長　運営委員６名

支援者８名　一期生１名

・第１回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和４年７月９日（土）10：30～16：00 ：山梨市民会館４階会議室

支援者８名　　一期生１名　　運営委員６名　　補助 ST1 名

1. 講義	失語症概論	10：30～12：30	講師：内山会長
2. 講義	失語症のある人の日常生活とニーズ	13：30～14：30	講師：廣瀬委員
3. 講義	意思疎通支援者とは何か	14：45～15：15	講師：吉澤委員
4. 講義	意思疎通支援者の心構えと倫理	15：15～15：45	講師：吉澤委員

失語症は難しいから
何度でも勉強したいと
参加下さった１期生

・第 2 回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和 4 年 7 月 23 日（土）10：00～17：00　：山梨市民会館 4 階会議室

支援者 8 名　　一期生 2 名　　運営委員 4 名　　補助 ST2 名

1. 講義　派遣事業と意思疎通支援者の業務　　10：00～11：00　　講師：山梨県障害福祉課

2. 情報交換会（一期生と三期生の交流）　　11：00～11：40　　講師：赤池委員長

3. 講義　コミュニケーション支援技法Ⅰ　　12：40～17：00　　講師：舟越委員　池神委員

本日のスケジュール

1. 10:00～11:00　講義:山梨県障害福祉課　横森主事
   「派遣事業と意思疎通支援者の業務」
2. 11:00～11:40　情報交換会(一期生を交えて)
   昼食
3. 12:40～14:40　講義とロールプレイ:運営委員
   「コミュニケーション支援技法Ⅰ」
4. 14:50～16:50　講義とロールプレイ:運営委員
   「コミュニケーション支援技法Ⅰ」

第 2 回講習会の感想

第 2 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会（7 月 23 日）受講の感想

名前：J. Y.

1. 派遣事業と意思疎通支援者の業務について

・法律のことから教えていただいたので わかりやすかったです。

・高齢者福祉などに税金が使われていることを考えるとしっかり学んで 失語症の方の役にたてる支援者となることが大切だと思いました。

2. 情報交換会について

・情報交換会で 1期生の方の意見を聞いて、実際の場面に参加して、支援して経験を積んでいくことが大事だと感じました。

・緊急動機など自己紹介を行い、それぞれの方の思いを聞くことができ、いろいろな職種や経歴も様々で、いろいろな考え方、情報も吸収できるのかと思いました。

・1期生の方の話を聞いて、難しいと思い、不安にもなりましたが、楽しそうに話をされていて、やりがいを感じていらっしゃるんだと思いました。

3.コミュニケーション支援技法Ⅰについて

・絵カードが何かを質問により見つける演習では、自分の思い込んだイメージから抜け出すことができず、あせってしまって、あてることに集中してしまい 基本を忘れてしまっていた。

・話の要点を書き表す場合も カレンダー、絵 など使用して わかりやすく書く、伝えることは難しいと感じました。

・会話を楽しんだり、相手の思いを知りたいという基本的な部分を大切にして支援していきたいと思いました。支援技法を学び、病棟で看護師をしていた時の失語症の方への接し方は全然理解していなかったと改めて感じ、奥が深いと思いました。

4.ご質問やご意見があれば、お書きください

講師の先生方の言語聴覚士になった動機ややりがいなどもお聞きできればと思いました。

第 2 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会（7 月 23 日）受講の感想

名前：K. T.

1. 派遣事業と意思疎通支援者の業務について

県や市町村で、さまざまな支援事業があることを知った。

2. 情報交換会について

1期生の お話や、今回参加者の 志望動機 思いなどを 聞くことができ、今後 私が 悩んだり 困った時に 相談や 情報を 共有 できると 感じました。

3.コミュニケーション支援技法Ⅰについて

1期生の方と 一緒に 実践をしながら 失語症の人の 気持ちを 考える ことができた。

スライドの 説明も わかりやすく 勉強になりました。

第 2 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会（7 月 23 日）受講の感想

名前：M. Y.

1. 派遣事業と意思疎通支援者の業務について

私が参加させて頂いているこの講習会が、地域生活支援事業の必須事業である事を知り、とても気の引き締まる思いがしました。それと同時にこの講習会に参加させて頂けるありがたさと、少しでも失語症の方のお役に立てるように頑張っていきたいと再認識させて頂きました。

2. 情報交換会について

皆さんの志望動機や現在活躍されている状況等のお話を聞く事が出来て良かったです。皆さんの高い意識での参加という事がわかり、自分が恥ずかしくなってしまう思いがしました。色々な知識を持っている方達と一緒に勉強出来る環境がとてもありがたいと思います。これからも意思疎通支援者の仲間として、情報交換させて頂きながら、より良い支援が出来ると嬉しいと思いました。

3.コミュニケーション支援技法Ⅰについて

講義だけではわからないコミュニケーションの体験はとても良かったです。失語症者の方にどれだけわかりやすく伝える事が出来て、どれだけ気持ちを汲み取れるか、本当に難しいと感じました。失語症者の方達は伝える事が出来ないもどかしさを日々感じて過ごしているのかと思うと、とても胸の詰まる思いがします。少しずつコミュニケーション方法を取得して、失語症者の方が伝えたい事を理解出来るようになり、以前その人らしい気持ちを大事に出来る支援が出来たら良いと思いました。

・第３回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
令和４年８月６日（土）13：30～17：00　：国際交流センター
支援者８名　　一・二期生２名　　失語症当事者６名　　運営委員５名　　補助 ST4 名
1. 講義　コミュニケーション支援技法Ⅰ-①　13：30～16：30　　講師：赤池委員長

	当事者	３期生		ST	１・２期生
1	伊藤	橘田　千春		河西／杉本	石黒
2	細窪	秋山　好美	村上　蘭	舟越／望月	
3	利根川	市川　ゆき江		廣瀬	
4	末木	村田　裕樹		赤池／儀間	
5	旭	岡本　栄美	水上　友華	池神	
6	赤池とき子	竹田　夕子		向	中込

コミュニケーション支援実習Ⅰ-①
本日のスケジュール

1. 13:30～14:00　支援実習での注意点の確認
「コミュニケーション支援技法Ⅰの感想から」
2. 14:00～15:00　コミュニケーション支援実習
「自己紹介」

3. 15:00～15:15　休憩:当事者退場
4. 15:15～15:40　全体振り返り
5. 15:40～16:20　グループ振り返り
6. 16:20～16:30　事務連絡

・第４回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和４年８月 20 日（土）13：30～17：00　　：山梨市民会館４階会議室

支援者７名　　失語症当事者４名　　運営委員４名　　補助 ST2 名

1. 講義と実習　コミュニケーション支援実習Ⅰ－②　　13：30～16：30　　講師：　赤池委員長

当事者が絵カードを見て覚え描く　　支援者はその絵が何かを語の階層性を用いて当てる

	当事者	３期生		ST
1	伊藤	水上　友華	村上　蘭	赤池
2	末木	橘田　千春	岡本　栄美	望月
3	廣瀬	市川　ゆき江	村田　裕樹	池神
4	利根川	秋山　好美		廣瀬

1	伊藤	眼鏡　電話　木　太陽　家　傘　マッチ　包丁　葡萄　ハンドル 大文字焼　　ピアノを弾く（単語 11 枚　動作語１枚）
2	末木	月　靴　鳥　鉛筆　星　自動車　ビール　八百屋　蕎麦　スリッパ 大文字焼　　穴を掘る　　（単語 11 枚　動作語１枚）
3	廣瀬	時計　船　山　電車　雨　みかん　猫　弁当　桜　エスカレーター 金魚　大文字焼　　洗濯物を干す　（単語 12 枚　動作語１枚）
4	利根川	犬　卵　橋　川　櫛　切符　ハサミ　泥棒　塩　滝　虹 大文字焼　　プールで泳ぐ　　（単語 12 枚　動作語１枚）

G1（水上さん、村上さん）

・改めて失語症の方への伝え方が理解できた・広いことから狭いことへ、質問していくことが難しかった　・次回は階層性を意識したい

G3（市川さん、村田さん）

・「違う」と言われた時、焦ってしまい自分の考えていたことから切り替えられなかった・確認時に〇を付けて進める等の工夫も学べた

・第５回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和４年 10 月１日（土）10：00～16：00　：山梨県福祉プラザ大会議室、コワーキングスペース

支援者８名　　一・二期生２名　　失語症当事者６名　　運営委員５名　　補助 ST3 名

1. 講義　　外出同行支援　　10：00～11：00　講師：赤池委員長

2. 実習　　外出同行支援実習①　11：00～16：00

⑤9月 10日（土）	国際交流会館	10：30～14：30		3	
	感染拡大のため延期				
⑤10月 1日（土）	福祉プラザ	10：00～11：00	外出同行支援	1	赤池
	Co-Warking	11：00～16：00	外出同行支援　実習①	5	県立図書館集合、郵便局、昼食、振り返り
⑥10月 29日（土）	国際交流会館	10：00～16：00	コミュニケーション支援実習Ⅰ-③④	6	
⑦11月 12日（土）	山梨市民会館	13：00～17：00	身体介助の方法	2	作業療法士
	303 号室		身体介助実習	2	〃
⑧11月 26日（土）	国際交流会館	10：00～16：00	コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑤⑥	6	
⑨12月 10日（土）	岡島	12：30～15：30	外出同行支援　実習②　岡島買い物	3	
	談露館	16：00～16：45	修了式　談露館		

10:00～10:30　「外出同行支援」講義

当日のATM利用（当事者がその日の手当分4000円を下す）支援と昼食支援（支援者と一緒に食べる）

10:30～11:00　グループ別　当日の外出同行計画作成

11:30～12:30　県立図書館ロビー（北側）に集合してから２ブロック東の甲府北口郵便局

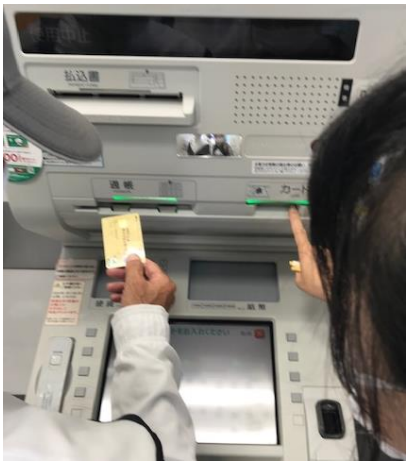
ATM を利用して、当日の手当 4000 円を下す

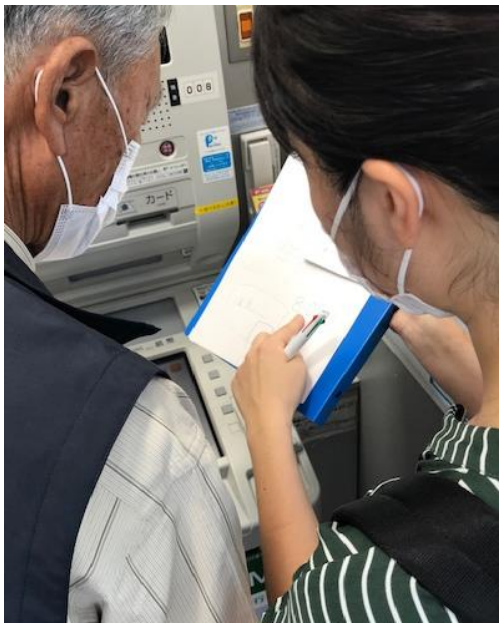
12:30～13:30　甲府駅周辺にて昼食をとる

13:30～13:50　甲府駅南口のコワーキングスペースに集合

14:00～14:40　全体振り返り（赤池）

14:40～15:40　グループ振り返り





・第 6 回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
令和 4 年 10 月 29 日（土）10：00～16：00　　：国際交流センター
支援者 7 名　　一期生 1 名　　失語症当事者 6 名　　運営委員 4 名　　補助 ST5 名
1. 講義と実習　コミュニケーション支援実習Ⅰ-③④　9：00～12：00　講師：舟越委員　池神委員

	支援者		当事者役		実習内容
1	村田 裕樹	橘田 千春	舟越	武井	①A
2	秋山 好美	市川 ゆき江	池神	佐々木	③A
3	岡本 栄美	水上 友華	杉本	河西	②A
4	村上 蘭	中込さん（1 期生）	望月	赤池/深山	④A

午前:外出同行支援を想定したロールプレイでの感想
村田さん（公共交通機関の利用を想定）
　情報がゼロの状態から聞き出していくことや広い所から絞り込むことの難しさを感じた
橘田さん（病院受診を想定）
　立て続けに質問してしまっては相手を疲労させてしまうと思う
　何を聞かれたら(質問したら)、当事者が答えやすいのかを考えながら進めた
　とっかかりとなることを、自分だったら何を伝えたいのかを考えながら質問するように心がけた
秋山さん（役所での手続きを想定）
　自分自身、会話を進めていく際の選択肢がとても狭いということを感じた
　選択肢が広がっていかない事への焦りも出てしまった
　困りごとの質問をして、聞き取っていくことがとても難しいと感じた

午後：当事者と
　　会話練習

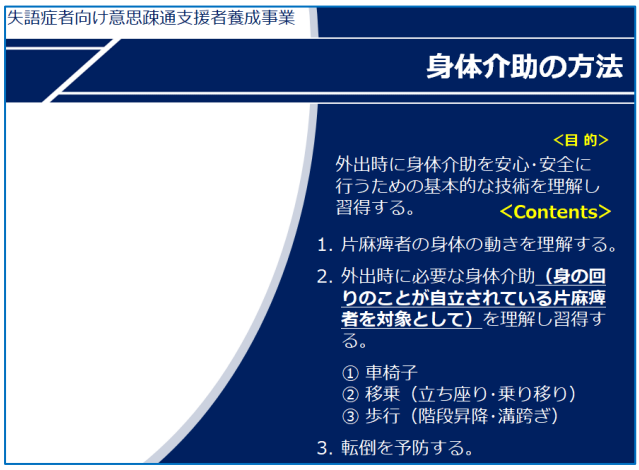
	当事者	3 期生	1 期生	ＳＴ	会話テーマ
1	伊藤	村田裕樹		佐々木	弟・妹について 兄弟の人数、年齢、思い出に残るエピソード等
2	末木	秋山好美		赤池 深山	最近買った物について 何を、どこで、いつ買ったのか、値段や選ぶポイントはどこだったか？等
3	廣瀬	村上蘭 水上友華		舟越 杉本	趣味(裁縫)について どんな作品を、どのくらいで作るのか、生地の購入や販売等はどうしているのか？等
4	利根川	岡本栄美		河西	今までの仕事、地域活動について 仕事や活動の内容に触れながら喜びや苦労話等
5	旭	市川ゆき江	中込	池神	家での過ごし方、家族と最近出かけたことについて 担当している家事の内容、頻度など。また家族で出かけた話等
6	細窪	橘田千春		武井 望月	今までの仕事、地域活動について 仕事や活動の内容に触れながら喜びや苦労話等

・第 7 回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和 4 年 11 月 12 日（土）13：00～17：00　　：山梨市民会館 303 号室

支援者 8 名　　一・二期生 2 名　　運営委員 3 名　　補助 ST2 名

1. 講義と実習　身体介助の方法と身体介助実習　13：00～17：00　講師：　広田真由美作業療法士



・第８回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和４年 11 月 26 日（土）10：30～16：00　　：国際交流センター

支援者７名　　一期生１名　　失語症当事者８名　　運営委員４名　　補助 ST4 名

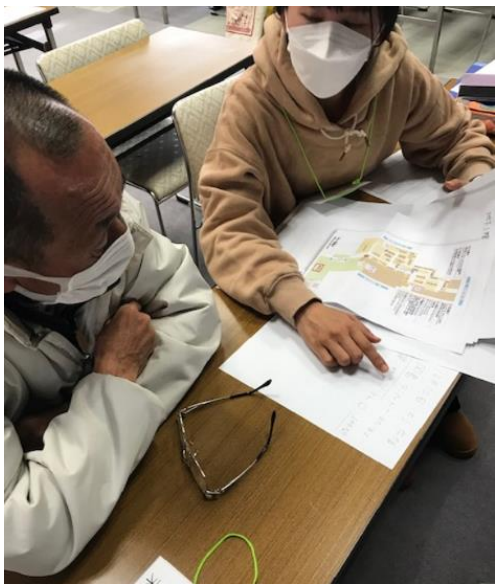
1. 講義と実習　　コミュニケーション支援実習Ⅰ－⑤⑥　　講師：赤池委員長

コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑤⑥

本日のスケジュール

10:00～10:30　本日の説明と12月10日の予定について
10:30～12:00　当事者と12月10日の計画をたてる
　　グループごと
12:00　　当事者解散
12:15～13:15　昼食休憩

13:20～15:00　午前中にたてた計画に即した必要な
　　支援を明確にし、具体的に内容を決める
15:15～　　グループ発表
15:50　　事務連絡後　解散



午前中支援実習の狙い

◎理解面・表出面双方に支援技術を活用する

- 文字だけでなく、様々な視覚情報を活用できるようにする
- 支援技術を活用しながら当事者の目的を把握する
- 視覚情報も活用しながら具体的な計画をたてる
- 当事者に立てた計画を正確に理解できるように伝える
- 身体機能や車いす使用の場合の注意点の確認をして、安全に移動できるようにする

午後支援の内容と狙い

◎12月10日（土）の「買い物同行支援」の計画をたてる

- 午前中に当事者から具体的な要望を聞き出したので、個々に当日の活動を細かく計画立てる。
- 必要な支援を明確にし、具体的に内容を決める。

12月10日のスケジュール予定

12：30　　支援者集合（甲府駅）
12：45　　当事者集合（甲府駅）検温を済ませ、そろった
　　グループからバス乗り場北口に向かう
13：08～バス乗車（車椅子対応の低床バスの依頼をする）

13：10～14：25　　岡島デパートにて買い物・食事
14：25　　バス乗車のため中央4丁目（徒歩5分）へ向かう
14：44～バス乗車（車椅子対応の低床バスの依頼をする）
14：50　　甲府駅到着・当時者解散
　　支援者はこのまま談露館へ徒歩で移動
15：20～ 16：10　振り返りとグループ発表

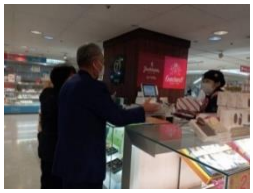
・第９回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和４年 12 月 10 日（土）12：30～16：00　　：岡島デパート

支援者８名　　一・二期生４名　　失語症当事者８名　　運営委員５名　　補助 ST4 名

1. 実習　外出同行支援実習②　　12：30～15：00

2. 振り返り　　15：00～16：00　　講師：赤池委員長



短い時間でしたが、どの当事者も写真のように活き活きと活動できたことはそれぞれの意思を支援者が丁寧に汲み取りながら支援した成果の賜でしょう

支援者のコミュニケーション支援技術評価では
初回時と６回目の比較では個人内点数がほぼ倍
以上に上がった３名の支援者を含め、
全員の失語症に対する理解と支援技術の成長を
心強く感じました。

・修了式

令和４年 12 月 10 日（土）16：00～17：00　：ホテル談露館

山梨県障害福祉課２名　県会議員１名　山梨県言語聴覚士会会長　運営委員５名　補助 ST3 名

支援者　８名

1.　修了証授与　　７名

2.　登録書授与　　７名

令和4年度
第3回山梨県失語症者向け
意思疎通支援者養成講習会

修了証授与式

令和4年12月10日（土）
談露館2階アメジスト

一般社団法人　山梨言語聴覚士会

皆さまご協力ありがとうございました

支援者代表挨拶

＜フォローアップ研修会＞

・第１回派遣報告会

令和４年６月 22 日（水）19：00～20：30　：山梨県立図書館イベントホール西

支援者 12 名（一期生８名、二期生４名）　山梨県障害福祉課１名　甲府市障害福祉課２名

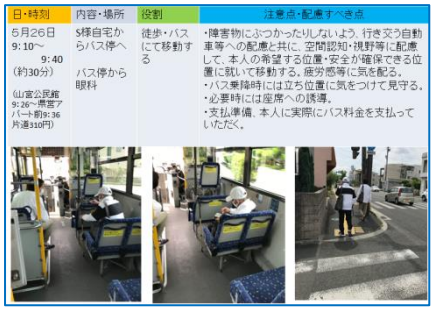
運営委員６名　補助 ST4 名　　参加者合計：24 名

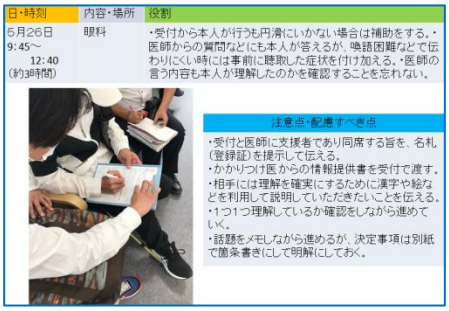
本日の内容

1. 19:00～19:40
「甲府市支援者派遣事業報告」
報告者：同行した支援者と運営委員長

2. 19:40～20:20
「意見交換」
※ 今回の派遣実施報告を受け、準備や注意点の確認、課題などについて、グループで意見交換を行い、発表する

3. 20:20～20:30 「まとめと今後の予定」





気づいた点

徒歩での移動の時は本人へ“死角となる部分”を確認し、支援者が安全な立ち位置を確保する必要があった。今回は当事者の右側に支援者が立ち歩行した。

病院内での受付の際、病院受付スタッフの会話のスピードが早いため、一度聞いた後に支援者が復唱して当事者へ伝える必要があった。

問診票では質問の長い文章や、回答のためのたくさんの語群があり語の心像性や親密度を意識して説明していく必要があった。

問診票で書いた内容と、診察時に医師へ伝えた内容が反対のことがあった。当事者の発言については、繰り返し聞き直しを行い確認する必要があった。

派遣支援を受けた当事者の感想

【よかった】

「ほんとに良かったよ、（見えないから）歩くのだって大変だし、（行く場所が）はじめてだったら、いつも困るんだけど（一緒にいてもらったから）安心した」

【課題】

・検査で一人奥の部屋に入った時に、頭や目を動かす指示などいろいろ教示されて、それが早口だったから、理解しにくかった。

・医者や受付の口調も早くてわからなかった。

【意見交換会での質疑・感想】

- 様々な場面を想定して準備をするということの重要性を感じた。
- 準備期間はどのくらいあったか。→1 週間くらい前までには情報提供書を送付します。もし、不安等あれば電話などでの相談・対応も可能です。
- 当事者の方が複数回支援を依頼してきてくれた際に同行する支援者は毎回同じ方が支援者も安心するのではないか。→色々な支援者の方と話す、コミュニケーションを図ることは当事者の方々にとっての社会参加や自立につながるので色々な方に支援をお願いしたい。また、個人的な関わりになりトラブルにつながることも考えられるので、それを避けるためにも色々な方にいっていただきたい。
- コーディネーターは毎回ついてもらえるのか。いない時の対応が心配。→次の派遣はコーディネーターの同行がありませんので、コーディネーターの緊急連絡先を伝えられるように準備します。
- 下見をして当日に困らないようにイメージしておくことが必要だと思った。
- 友の会や実習などで経験できる機会に参加していきたい。
- 派遣に行ける人や難しい人はどのように連絡をしたらいいでしょうか。→締め切りの期日を決めるので、個人で返信をしていただき、決まったら「決まりました」と連絡を流します。

・第 2 回派遣報告会

令和 5 年 3 月 20 日（月）18：45～20：15　：山梨県立図書館イベントホール西

支援者 13 名（一期生 6 名、二期生 6 名、三期生 1 名）　山梨県障害福祉課 1 名

甲府市障害福祉課 1 名　運営委員 6 名　補助 ST16 名　参加者合計：34 名

本日の内容

18:45～　今年度の派遣事業について

19:00～　甲府市12回の派遣支援報告

19:30～　グループディスカッション
派遣支援経験者からの報告と今後の課題

20:00～　まとめ
失語症全国大会に向けてのお願い

令和4年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者派遣実績(R5.3.20)

実施回数	市町	日付	登録当事者	派遣登録者	目的	時間
1	甲府市	R4.5.26(木)	S	菊地	眼科受診(初)	5
2	甲府市	6.29(水)	A	中込	眼科受診(初)	4
3	甲府市	7.29(金)	S	保坂(め)	処方薬受け取り	2
4	甲府市	9.5(月)	A	岩崎	白内障手術前検査	3
5	甲府市	9.9(金)	A	小林(明)	白内障手術前検査	4
6	甲府市	10.13(木)	S	岩崎	冬物買い物	3
7	甲府市	10.19(水)	S	隠崎	障害年金相談と書類確認	3
8	甲府市	11.9(水)	S	隠崎	年金書類提出	3
9	甲府市	11.25(金)	S	功刀	眼科再診補助	3
10	甲府市	R5.2.10(金)	S	保坂(め)	眼科再診補助	4
11	甲府市	2.24(金)	S	秋山(み)	引っ越し先近隣商業施設の確認	2
12	甲府市	3.15(水)	S	小沼	就労施設見学同行支援	2

1期生　2期生

甲府市第12回派遣支援実施　2023.3.15(水)　目的:就労施設見学同行支援
失語症者向け意思疎通支援者派遣業務実施報告

日・時刻	内容・場所	業務内容
11月9日 10:00～ 12:00 (約3時間)	障害者サービス就労施設	・待ち合わせ場所で合流 ・事前準備(メモにする用紙やはさみ、油性ペン定規なども持参) ・理解や発話の状況と見え方の問題などを伝えた ・施設の案内チラシを見せられながら概要や仕事の説明を受けたので、理解の程度をその都度確認した ・確認方法は大丈夫、不安などの内容を紙片に書き、当事者に選択してもらって、必要ならしばらく説明を待ってもらうようにした

気づいた点(問題点・要望・引継ぎ事項等)

・施設側の説明が早口だったので、間に入って理解の程度を確認する必要性を強く感じた。
・当事者が眼鏡を忘れたため、油性ペンでの文字は大きく、単語表記を心がけた。
・実際の体験では、透明袋に二つ折りにした紙を入れていくが、表裏の区別がつきづらいなど、その都度の声がけが必要になった。
・当事者の見えにくさを説明しても施設側はあまり気にしない様子があった。

説明をされた時、早口で何を言っているのかわからなかったが、支援者が一つずつ紙に書いて見せてくれたので、とてもよく分かった。ただ、とても足が冷えて寒かったです。俺だけですか、だから話に集中できなかった。

【グループワークでの報告・感想】

・派遣実施の際に困ったこと・今後の課題（抜粋）

・１対１の場面では文字提示などを行いながら、コミュニケーションを図ることが可能であったが、病院のスタッフなど第 3 者が入った際に、適切なフォローを行うことができなかった。

・検査中、どこまで支援して良いのか迷った。今回他の方が、左右の指示を文字で示す支援をしたとの報告を聞き、自分も工夫が必要だと感じた。

・派遣場所の事前確認などは必要を感じた。

・甲府市以外の市町村での派遣支援件数を増やしていくためにはどうしたらよいか（抜粋）

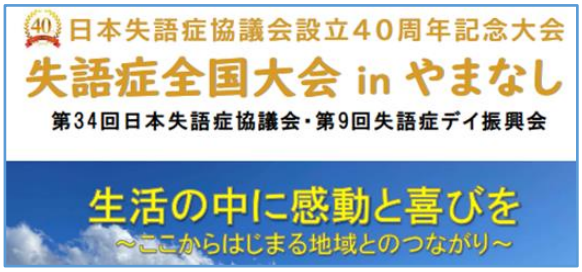
・支援事業について多くの方に知ってもらえるように、市議会議員やケアマネの学習会などで活動の紹介や説明などを行うのはどうか。

・家族が支援してくれている場合も多いと思うので家族の負担軽減という目的でも募集をしてみる。

・県内は交通の便が悪く、移動手段が制限されることも派遣支援実施には市町村で差が出る一因。

・ふじやま等の当事者会に支援者が参加し、当事者と家族にイメージしてもらえれば依頼が増えるのではないか。

今回、全国大会で初めて支援者がデビューします



＜運営委員会＞

・全 10 回開催（集合・オンライン会議）

第 1 回	令和 4 年 4 月 12 日	18：30～21：00	13 名
第 2 回	令和 4 年 6 月 22 日	18:30～21：00	7 名
第 3 回	令和 4 年 7 月 9 日	16：00～17：00	7 名
第 4 回	令和 4 年 7 月 23 日	17：00～18：00	9 名
第 5 回	令和 4 年 8 月 6 日	17：00～18：00	10 名
第 6 回	令和 4 年 8 月 20 日	17：00～18：30	9 名
第 7 回	令和 4 年 10 月 1 日	16：00～17：30	10 名
第 8 回	令和 4 年 10 月 29 日	16：00～17：30	11 名
第 9 回	令和 4 年 11 月 12 日	17：00～18：30	9 名
第 10 回	令和 4 年 11 月 26 日	16：00～17：00	11 名
第 11 回	令和 4 年 12 月 10 日	17：10～18：00	10 名

＜個人ワーク＞対象者計 6 名 各回 10：00～12：00

担当：赤池運営委員長　　会場：湯村温泉病院外来リハビリ室

内容：失語症者の外来リハビリに同席してもらい、失語症リハビリテーションを経験しながら、コミュニケーション対応方法や支援について学んだ。

令和 4 年 9 月 12 日（月）、20 日（火）、26 日（月）、28 日（水）、29 日（木）、30 日（金）